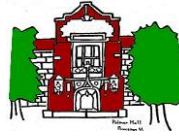


ななかま

プリンストン日本語学校新聞



平成24年度 No.27号

平成24年11月25日

文責 長尾重範

七面鳥 三羽脅迫 後ずさり
感謝祭 踊る黒金 親疲れ

行事予定表

12月 9日 学芸会 学習発表会
12月16日 12月の最終日
秋祭り
1月6日13日 書き初め
Pコース・高等部入学説明会

秋の俳句 小学2年生作品集(2)
あきがきます はっぱがおちます きれいです
高木健
すずむしが きれいなこえで なきました
高野歩
あきがくる もみじのはっぱは まっかだな
多田華凜
あきが来る こうもりが来た たのしいな
タヌラ曾良
くりだんご はっぱがおちる たのしいな
ディジョージニコラス
ぎんなんは きのだになる おいしいです
バーグストロム和馬
さつまいも あつくてあまい あきのあじ
バークレー恵
コスモスが とてもきれいね はなばたけ
ネッスル慈英理
あきがきた りんごを食べる おいしいな
ミラージョー
くりごはん さんまの塩焼き おいしいな
山本大幹
すずむしが こえがきれいね よるのなか
ヤング真学
すずむしが うるさくなくよ あきのよる
リネハン海正

「最優秀賞」

『秩序』横瀬拓哉(高等部)

「優秀賞」

『アラブの春』稲垣譲治(中学部)

『日本人の僕とアメリカ人の僕』パレルモニコラス
(プリンストンコース中高部)

『キムチ・KPOP・竹島』山田美帆(高等部)

「生徒が選ぶ優秀賞」

『恋愛』竹内友子(高等部)

『SN』菅野花梨(高等部)

『先生 VS. 生徒』小池七瀬(高等部)

「個人の人権と尊厳を守る」

日本語学校に通うのは、日本の文化や言葉を学んで、それを将来に役立てるためです。週日にそれぞれの学校で英語で学び、日曜日に日本語学校で学ぶには、苦勞が伴いますが、それでも将来を信じてがんばっているのです。ですから、本校は一人ひとりが大事にされ、登校して楽しい学校でなければなりません。

お互いにとって居心地のよい教室であるために、自分が言われたりされたりしていやなことを、相手に対して言ったりしたりしないようにしなければなりません。

本校は、個人の人権を踏みにじる言葉を使うことや暴力行為を許しません。それらの言動に対して、厳しく臨みます。学習の前提としての安心と安定を阻害する要因を認めません。不愉快なことや人権を否定されるようなことには、すぐに反対の声を上げましょう。



表現学習発表会が11月11日18日に行われました。

まずは皆さんの発表内容に感心しました。お疲れ様でした。発表があまり好きではない人やぎりぎりまで内容と格闘した人も、そのことをネタにしてきっちり原稿が書けることにも驚きました。発表が苦手だった私は、皆さんの発表を聞いてどれも主張がしっかり盛り込まれていることに正直圧倒されました。先生方も同じような感想を持たれていて、その分、審査も難しかったです。

また、発表の内容の新鮮さが光っていました。世界情勢に言及したり、体験を踏まえてものごとの真理に迫ったり、心の中を分析してみたり、なかなか圧巻でした。バイカルチャーな自分を冷静に捉えている発表にも感動しました。いずれも大変印象深い内容になっていました。

こうして緊張感の大きい雰囲気の中で発表したことは、日本語力と思考力を高めるのに大きな力になったと思います。表現発表のためのネタ(材料)は、批判的な眼を持っていれば、日常生活の中に多く見つけることができます。来年もまた素晴らしい発表を期待しています。

入賞した皆さんを左に紹介します。